



© 2012 Winsystem Inc. All rights reserved.

## リファレンスガイド

概要・動作環境 .....	1
インストール手順.....	2
画面・ボタン説明.....	4
使用方法.....	11
アンインストール手順.....	15
製品版へのアップグレード .....	16

# 概要

DBMask4.0 は、データベースに保存されている個人情報に関連する項目をマスクすることができるツールです。

- ・個人情報保護法により個人を特定するような情報管理が難しいのですが、システム開発などでは実データに沿ったデータが必要なものです。そこでDBMaskを利用して個人情報に関連する項目を「X」や「x」の文字で（任意の文字を指定できます）マスクする事で個人情報の漏洩を防ぐ事が可能です。
- ・マスク方法を項目毎に変更させたい場合、それぞれの変換ルールを適用してマスク文字も変更できます。

# 動作環境

OS :

Windows 10

Windows Server 2012, Windows Server 2012 R2

.NET Framework:

3.5 以上

対象データベース :

Oracle :

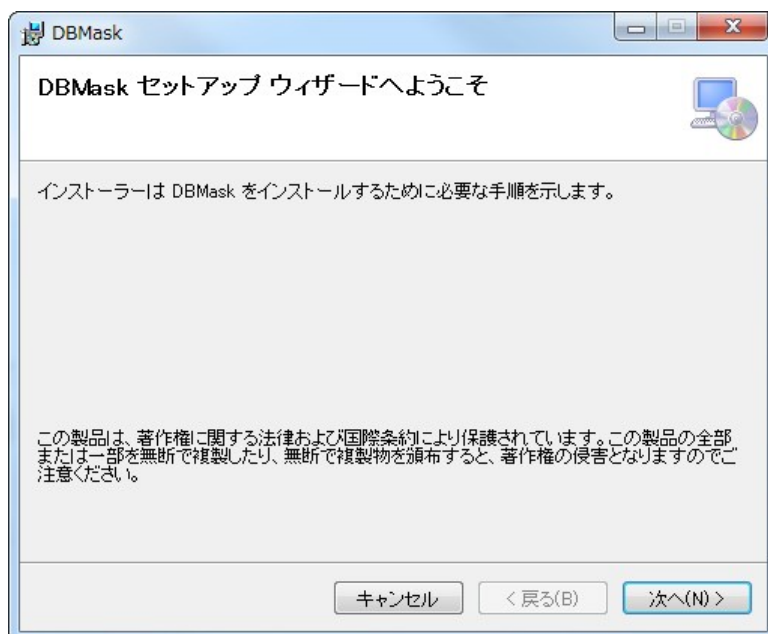
Oracle11g

SQL Server:

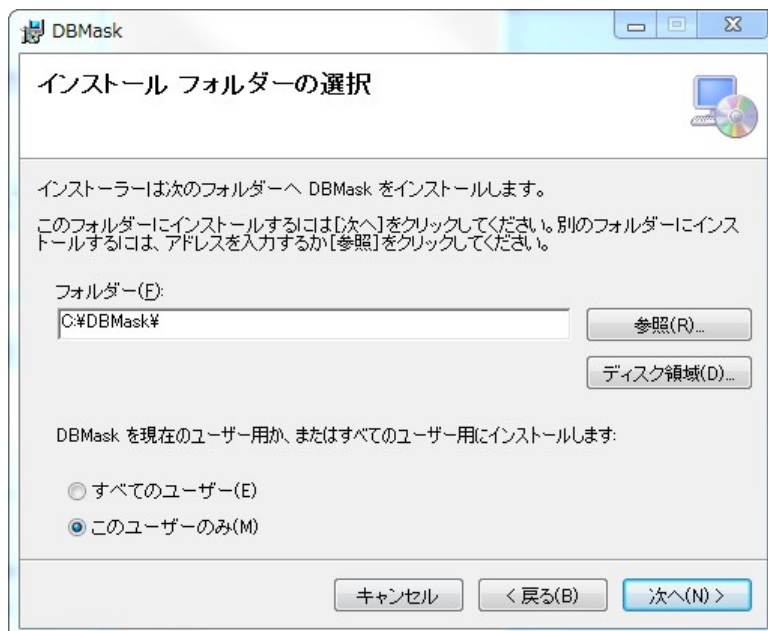
SQLServer2012

# インストール手順

1. DBMaskSetup.msi をダブルクリックします。
2. 以下のような画面が表示されますので、「次へ」をクリックしてください

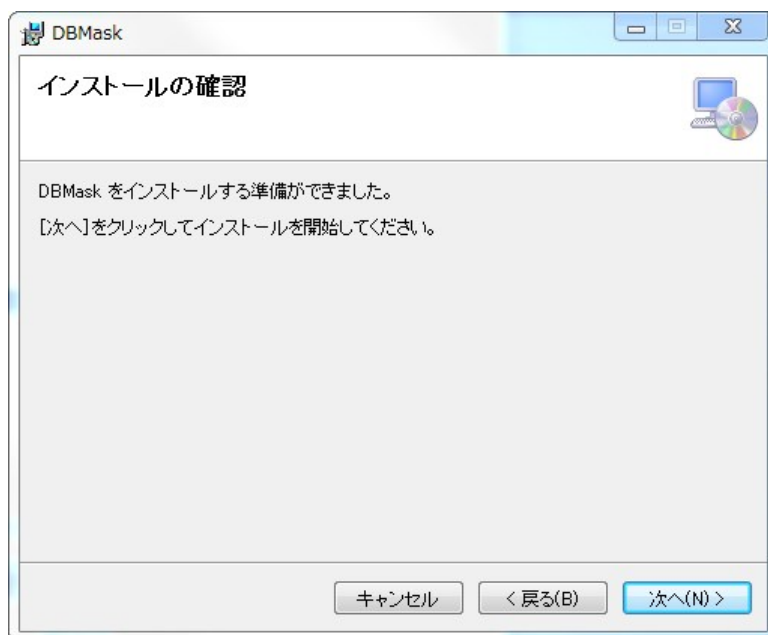


3. 以下の画面にてインストール先のフォルダを設定します。

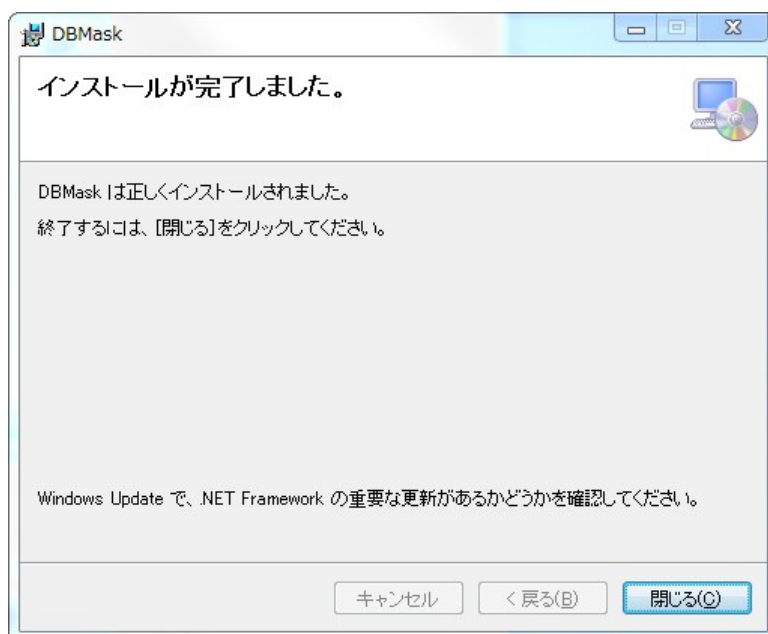


※Oracle のマスク処理を行う場合、インストールパスに () を使用しないでください。

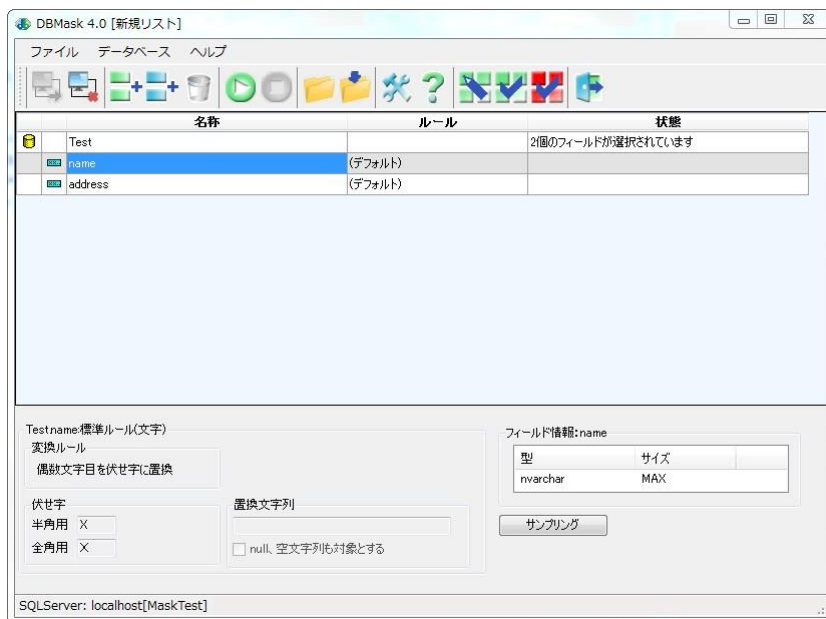
4. 設定は全て終了です。「次へ」でインストールが始まります。



5. インストール完了画面が表示されます。  
「閉じる」をクリックするとインストーラが終了し、インストール完了です。



# 画面・ボタンについて



## 1. 各ボタンの機能について



・ データベースへの接続を行います。

ショートカットキー：Ctrl+D



・ データベースの接続の切断を行います。

ショートカットキー：なし



・ マスクするテーブルの追加を行います。

ショートカットキー：Ctrl+T



・ マスクするフィールドの追加を行います。

ショートカットキー：Ctrl+F



・ 一覧で選択しているテーブル、フィールドの削除を行います。

ショートカットキー：Del



・ マスク処理を行います。

ショートカットキー：Ctrl+E



・マスク処理の中断を行います。

ショートカットキー：なし



・フィールドリストの読み込みを行います。

ショートカットキー：なし



・フィールドリストの保存を行います。

ショートカットキー：なし



・環境設定画面を開きます。

ショートカットキー：Ctrl+O



・DBMask について画面を開きます。

ショートカットキー：なし



・一覧で選択しているフィールドのマスキュールの編集を行います。

ショートカットキー：Ctrl+R



・一覧で選択しているフィールドのマスキュールの初期化を行います。

ショートカットキー：なし





・全ルールの初期化を行います。

ショートカットキー：なし

## 2. マスク一覧

マスクする対象のテーブル、フィールドを表示します。

また、マスク実行後の結果等の表示を行います。

	名称	ルール	状態
	Test		1個のフィールドが選択されています
	name	(デフォルト)	

名称：黄色いアイコンはテーブル名、緑色のアイコンはフィールド名を表示

ルール：マスキュール

状態：マスク実行時の進行状況やエラーメッセージ等を表示

### 3. フィールド詳細

- ・ 変換ルール

マスク実行時のルールになります。

- ・ 伏せ字

半角用の伏せ字および全角用の伏せ字を表示します。

- ・ 置換文字列

置換する文字列を表示します。

※ルールが「指定した文字列で項目を置換」時のみ適用されます。

- ・ null、空文字も対象とする

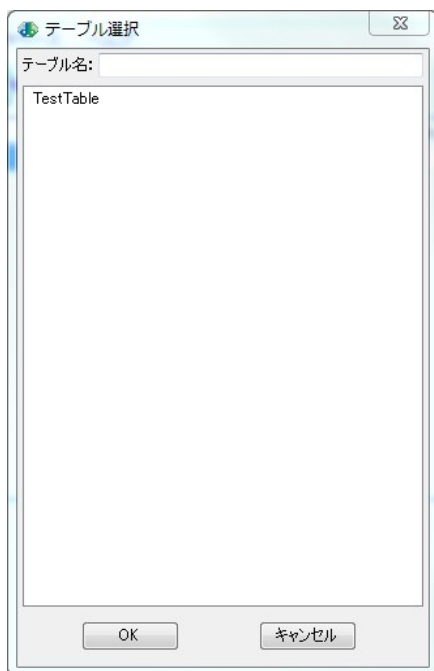
チェックがついている場合、マスク対象フィールドのデータが null、空文字でもマスク対象になります。

### 4. フィールド情報

- ・ 型：フィールドの型を表示します。

- ・ サイズ：フィールドのサイズを表示します。

### 5. テーブル選択

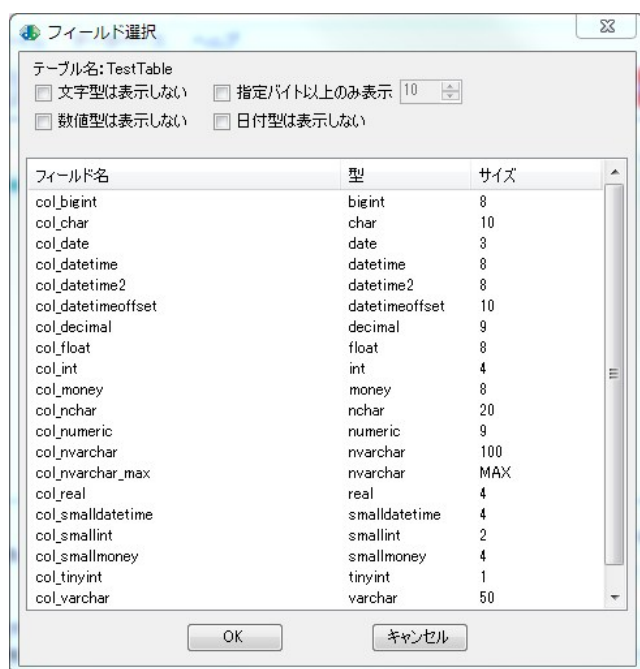




## 6. フィールド選択

各チェックボックスの動作に関しては以下の通りです。

- ・ 文字列型は表示しない  
一覧から文字列型の項目を非表示にします。
- ・ 数値型は表示しない  
一覧から数値型の項目を非表示にします。
- ・ 日付型は表示しない  
一覧から日付型の項目を非表示にします。
- ・ 指定バイト以上のみ表示  
指定されたバイト以上のサイズを持つフィールドのみを表示します。



## 7. DB 接続画面

データベース接続に関する詳しい資料は、  
各データベースのマニュアルを参照してください。

- ・ SQL Server

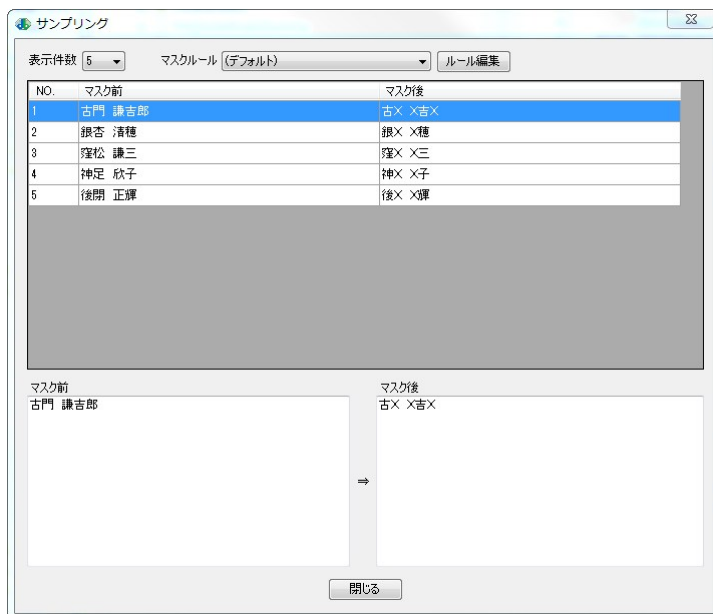


- ・ Oracle




## 8. サンプルング

- ・ 設定されているルールでマスクした時の結果を確認することができます。



NO.	マスク前	マスク後
1	古門 謙吉郎	古X X吉X
2	銀杏 清穂	銀X X穂
3	窪松 謙三	窪X X三
4	神足 欣子	神X X子
5	後閑 正輝	後X X輝

## 9. 環境設定



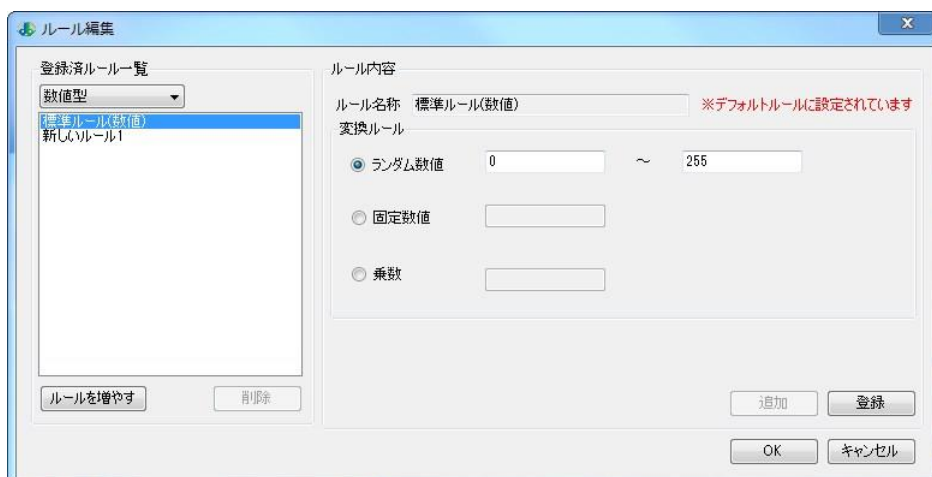
- ・ デフォルトルール

マスク実行時に使用するデフォルトのマスクルールになります。

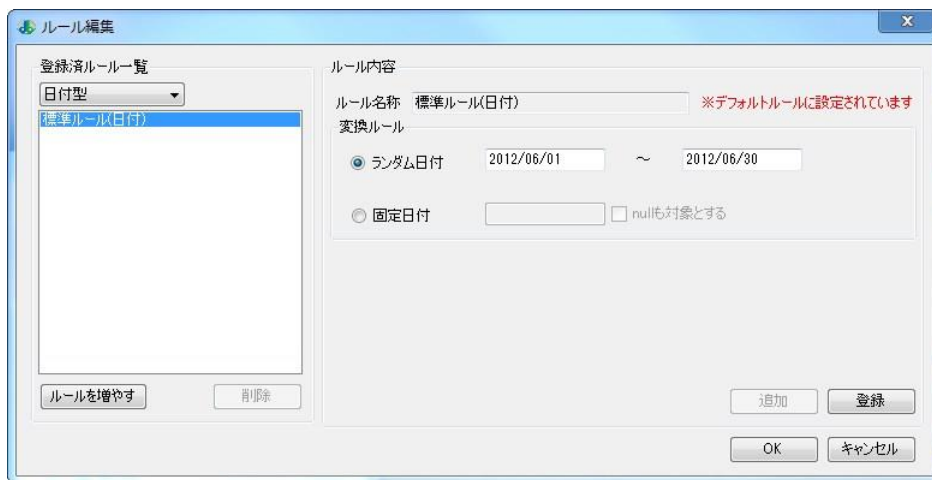
- ・ コミット回数  
マスク実行時のコミット回数です。
- ・ ルール編集  
ルール編集画面を開きます。
- ・ ルール編集画面 (文字列型)



- ・ ルール編集画面 (数値型)



・ ルール編集画面(日付型)



ルール編集

登録済ルール一覧

日付型

標準ルール(日付)

ルールを増やす

削除

ルール内容

ルール名称 標準ルール(日付) ※デフォルトルールに設定されています

変換ルール

☒ ランダム日付 2012/06/01 ~ 2012/06/30

☐ 固定日付  ☐ nullも対象とする


追加

登録

OK

キャンセル

10. ライセンスについて



ライセンスについて

ライセンス番号

[ライセンス発行はこちら](#)

OK

キャンセル

# 使用方法

## ・DB への接続

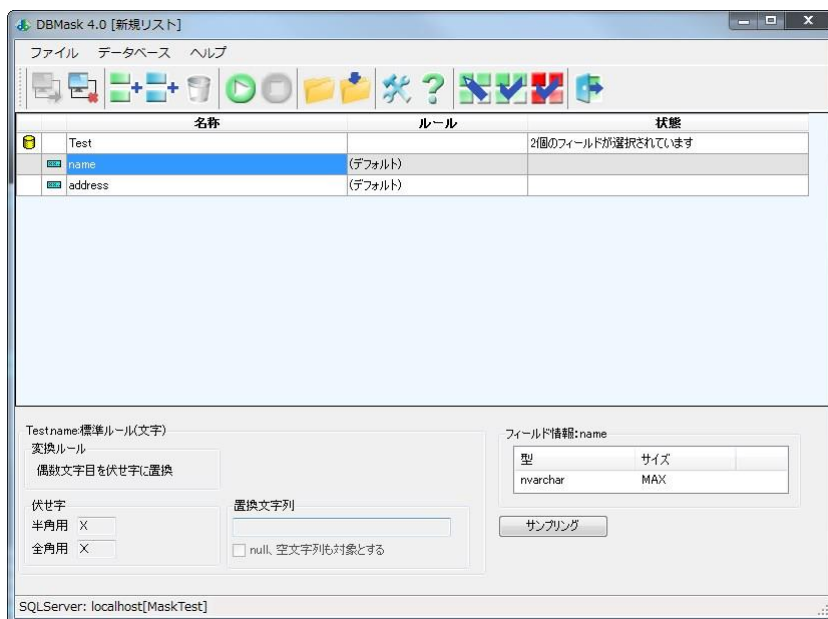
DBMask.exe を実行してください。

DB 接続画面が表示されますので、マスク処理対象のデータベースへの接続情報を入力してください。




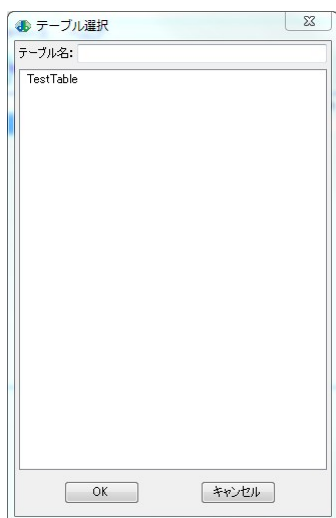
DB に接続後、メインが表示されます。


※接続情報はステータスバーに表示されます。

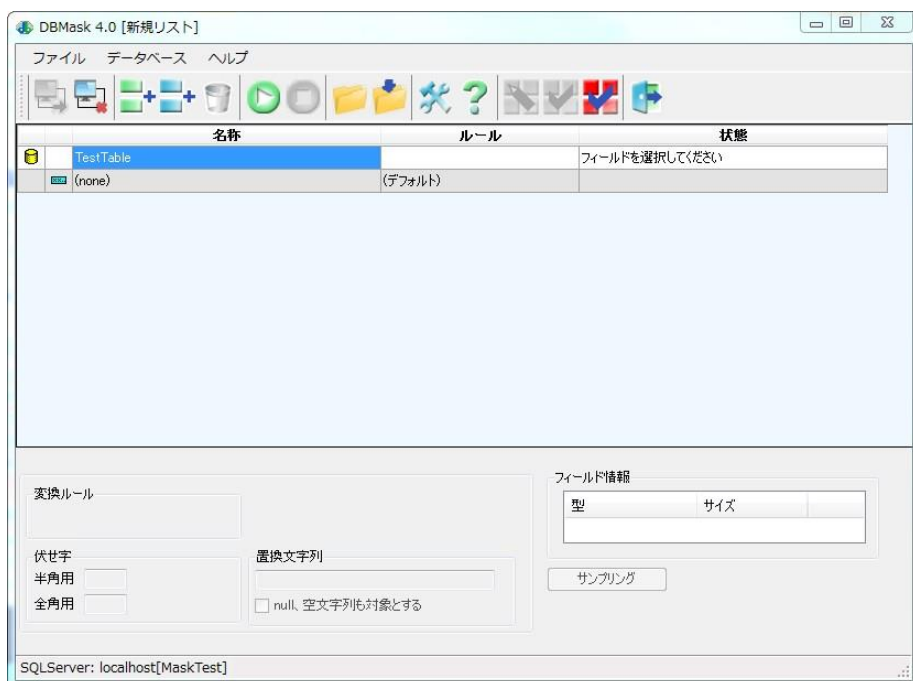




### ・ テーブルの指定

 ボタンをクリックするとテーブルの一覧が表示されます。  
グリッド上で右クリック→テーブル追加でも同様です。  
マスク処理を行うテーブルを選択します。  
複数選択する場合には Ctrl キーを押しながらクリックしてください。  
(※試用版では 1 テーブルのみ登録できます)




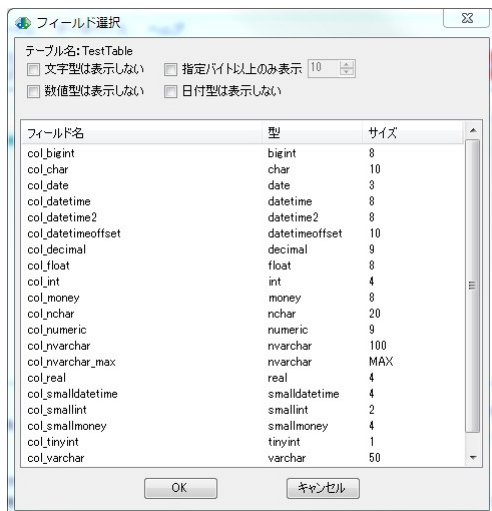
テーブル追加後以下のような画面が表示されます。  
(左のグリッドに  が表示されます)



テーブルを削除するには  がある行をクリックし  ボタンを押すか  
右クリック→削除を選択してください。

## ・フィールドの指定

 ボタンを押すとフィールドの一覧が表示されます。  
グリッド上で右クリック→フィールド追加でも同様です。



マスク処理をするフィールドを選択します。

複数選択する場合には Ctrl キーを押しながらクリックしてください。

マスク可能なデータ型は以下の通りです。

### 文字列型

- ・ char/nchar/varchar/nvarchar

### 数値型

- ・ int/bigint/decimal/float/money/numeric/real/smallint/smallmoney/tinyint

### 日付型

- ・ date/datetime/datetime2/datetimeoffset/smалldatetime

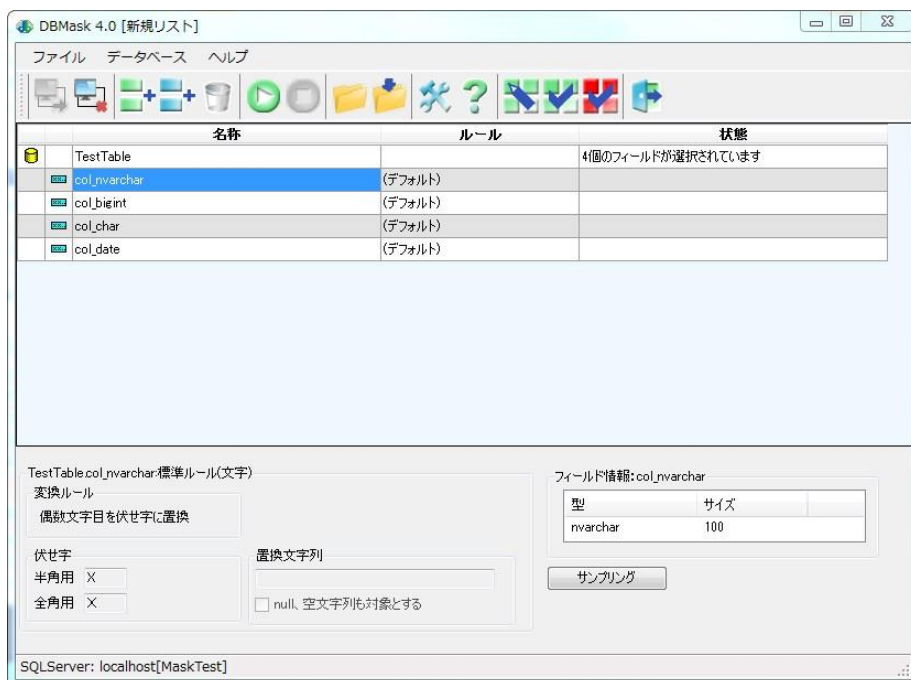
「文字列型は表示しない」にチェックをした場合、文字列型のフィールドを表示しません。



「指定バイト以上のみ表示」にチェックをした場合、指定サイズ以上のフィールドのみ表示します。


「数値型は表示しない」にチェックをした場合、数値型のフィールドを表示しません。

「日付型は表示しない」にチェックをした場合、日付型のフィールドを表示しません。

フィールド追加後以下のような画面が表示されます。




フィールドを削除する場合には  がある行をクリックし  ボタンを押すか  
右クリック→削除を選択してください。


ルールのフィールドをダブルクリックするか  をクリックすることで  
変換ルールをデフォルトから別のルールに変更できます。

(※試用版ではルールの変更を行うことはできません)

#### ・マスク処理の実行

 ボタンを押すと確認メッセージのあと、マスク処理を実行します。

選択したフィールドごとに上から順にマスク処理が実行されます。

マスク処理中に  ボタンを押すと処理を中断することができます。

中断するまでに実行されたマスク結果は元に戻せませんので注意してください。



## アンインストール手順

1. [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムと機能]をクリックします。
2. DBMask を選択、右クリックでアンインストールを選択します。
3. 以下の画面が表示されますので、[はい]をクリックします。



4. アンインストールが実行されます。

## エラーメッセージ

操作中にエラーが表示される場合がございます。

イベントログに内容が記載されている場合がありますので、対応方法をご確認下さい。

[イベントログの場所]

[コントロールパネル]-[管理ツール]-[イベント ビューアー]-[Windows ログ]-[アプリケーション]

## 製品版へのアップグレード

DBMask4.0 のマスク処理試用回数は 5 回までとなっております。

試用回数を超えてご利用される場合には、ライセンスキーを購入していただき製品版として動作させる必要があります。

### ライセンスキーの購入方法：

1. 以下の口座に製品代 5,000 円（＋消費税）を振り込む。

三菱東京 UFJ 銀行 武蔵小杉駅前支店

口座番号                      普通    0462981

口座名                        カ) ウィンシステム

2. 注文専用メールアドレスに振込み時に指定した振込み者名と電話番号を連絡する。

注文専用メールアドレス    win\_order@winsystem.jp

3. 連絡メールの返信でライセンスキーが届く。

（1 週間程度お待ちいただくことがありますのでご了承ください）

4. メニューの「ヘルプ」→「ライセンスについて」ボタンを押下時に表示される画面にライセンスキーを入力する。

=====

この文書はあくまでも参考資料であり、掲載されている情報は予告なしに変更されることがあります。本書の内容に関していかなる保証もいたしません。また、本書の内容に関連したいかなる損害についても責任を負いかねます。